

農村の活性化と都市農業の理解
促進に向けた
新たな協同をめざして



第4号

2014年5月発行

JA都市農村交流全国協議会・会報誌

クロス・カントリー



雪害から復旧に向けたJAグループ支援隊の活動の様子



JA都市農村交流全国協議会

JA都市農村交流全国協議会 会報誌について

会報誌「**クロス・カントリー**」の第4号は、平成26年度最初の発行です。

4月より事務局も香取から石岡へ代り、石井・石岡のダブルストーンコンビで務めさせていただきます。

なお、この会報誌は会員活動の一環として、協議会、会員活動の報告をはじめ各種情報提供のため、年4回(5月、8月、11月、2月)発行いたします。

会員相互、会員・外部団体など様々な交流を促進するため、情報収集に励み、みなさんに愛読いただける会報誌を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

JA都市農村交流全国協議会事務局

～～会報誌の主な構成～～

《会員活動》 P 3 - 4

本協議会会員の取り組み事例をご紹介しますコーナーです。

今回は、JA水戸の「地域住民との交流」の取り組みをご紹介します。

《JA交流事業》 P 4

「JA交流事業モデルJAプロジェクト実践事例集」を配布しております。

《調査・研究》 P 5

「婚活」に対する協議会の活動がスタートしました。

《研修会・セミナーのご案内》 P 5 - 6

基礎研修会Ⅱ・情報意見交換集会・基礎研修会Ⅲの開催のご案内。

《支援隊レポート》 P 6 - 7

雪害からの復旧に向けた支援隊の活動および東北支援隊の情報をご紹介。

《お知らせ》 P 7 - 9

グリーンツーリズムの推進、子ども農山漁村交流プロジェクトおよび集客対策の新たな手法としてWEBサイト「JOINTly GREEN」(ジョイントリー グリーン)をご紹介します。

《会員活動》 近況お知らせします



地域とのつながりを重視！

JA水戸は、2013年度に「貢献」「絆」「信頼」を柱にした新たな経営理念を掲げ、地域とのつながりを重要視し、13から15年度の中期事業計画では「地域に根ざした協同組合の実践」をテーマにして取り組んでいます。

食農教育の取り組みでは、出前授業や栽培・収穫体験などの農業体験を女性部・青年部が中心となって実践しています。今回は、若年層を対象とした「JA水戸こども倶楽部」、幅広く地域住民を対象とした「いきいき健康づくりプロジェクト」についてご紹介いたします。

JA水戸こども倶楽部

若年層のJAへの参画を目指し、乳幼児の母親や妊婦を対象に「JA水戸こども倶楽部」を開催し、例年20名程度の参加があります。

小学館の幼児教室の講師を招き、スキンシップを通じて、親子の信頼関係を深めるためのベビーマッサージや遊び方など学べる内容になっており、参加者からは「赤ちゃんが気持ち良さそう」と好評の企画です。

茨城町産のメロンやJA加工品のジェラートアイスの試食も行っています。

また、毎月の育児雑誌もお届けし、継続的な接点強化も図っています。

JAを中心に参加者を募り、こども共済の加入推進にも連動した取り組みとなっており、事業にも繋がっています。



ベビーマッサージを楽しむ参加者

いきいき健康づくりプロジェクト

地域住民の心と体の健康づくりを目指し、「いきいき健康づくりプロジェクト」に取り組んでいます。

取り組み内容は、健康に関するカルチャー教室やウォーキング大会を実施しており、ウォーキング大会は、水戸ウォーキング協会と連携し、コースづくりのアドバイスや当日の先導役などの協力を得ています。

参加者には、毎回身長体重、血圧等を測定し、歯磨き指導や料理など健康に関する講座も開いています。

このウォーキング大会は、地域住民の方々にJAを理解していただくきっかけになってきています。プロジェクト会員以外の地域住民の方々からも参加を募り、JA水戸全体企画として、

今年で3回目を迎えます。女性部によるけんちん汁やおにぎりの提供、JAから加工品のジュースを配るなど、JA事業のPRの機会にもなっています。



第2回ウォーキング大会の様子

ホームページの活用

13年12月にはホームページをリニューアルし、直売所やイベント情報をより早く発信できるようにしました。

また、組合長の挨拶が動画配信されており、新たなファンづくりのための工夫を凝らしながら、情報発信ツールとしての活用を開始しています。



JA水戸ホームページ

《JA交流事業》



本協議会員へ冊子を配布！

当事例集は、「JA交流事業」の多様な取組みの中から5モデルJAの実践事例をまとめています。これから「JA交流事業」に取り組もうとするJAや関係機関にご活用頂ける実践事例集です。会議・セミナー等でご活用いただきたく無料配布を開始しました。数に限りがありますのでお早めにお申し込みください。

◆冊子名

「JA交流事業モデル

JAプロジェクト実践事例集」

◆申込方法

FAXまたはメールにて、JA全中くらしの活動推進部 くらしの活動推進課宛てにお申し込みください。

*なお、在庫が無くなり次第、終了させていただきますのでご了承ください。

事務局では、引き続きJAや他企業の取組みも調査しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

事務局：石岡/JA全中くらしの活動推進課

TEL 03-6665-6249

FAX 03-3217-5073



《調査・研究》



テーマ：婚活

少子化対策として婚活も！

内閣府による少子化危機突破のための緊急対策においては、当初「子育て支援」「働き方改革」としていましたが、「結婚・妊娠・出産支援」を追加し、緊急対策の柱「3本の矢」での推進となりました。結婚の推進では、地域の青年活動の促進等も具体策として掲げられています。

協議会の活動としてスタート！

本協議会での平成26年度の事業活動においては、「婚活」に対する全青協の活動を中心に会員への実践的な活動支援を実施します。

結婚サービス業界や会員組織を有した企業・団体などとの異業種との連携を図りながら、地域での婚活の取り組みへの活動を支援いたします。

ノウハウの支援

青壮年部組織と連携し、本協議会会員JA・中央会等にて企画する「婚活」の活動に対して、本協議会として以下の活動支援を実施します。

I 婚活活動参加者を対象とした事前セミナーの開催支援	イベント当日に男性参加者の皆さんに万全を期して挑んで頂けるよう、マナーやエチケット、会話術などの基本講座を無料で開催します。
II 婚活活動の企画立案に関する活動支援	イベントの企画立案の段階にて、男性と女性がコミュニケーションが密に取れるプログラムや進行などの事例やノウハウをご提供します。
III 婚活活動の企画立案および運営に関する活動支援	上記の企画立案に加え、当日の運営の際も、事務局としてスタッフを派遣し、円滑なイベント進行をサポートします。

集客の支援

前述「ノウハウの支援」同様に、「婚活」の活動、特に参加対象者である未婚女性の募集に関して、下記の活動支援を実施します。

I 婚活イベントの参加の募集支援	異性参加者の募集にあたって、企業が有する会員への告知に関する協力を得ます。 ※一定の募集経費が発生します。 ※特定会員組織への会員向け特典の設定(参加費の割引)が必要な場合があります。 ※女性農業者の婚活イベントでは、男性参加者の募集も可能
II ツアー実施支援	公に参加者を募集し、バスなどの交通手段を利用した内容の場合は、旅行業の資格を有した企業による対応が法律上必要となります。JAグループの農協観光がチラシ作成なども含めご支援させていただきます。

詳細は、協議会事務局宛てにお問い合わせ・ご相談ください。

《研修会・セミナーのご案内》

基礎研修会Ⅱ
情報・意見交換集会
基礎研修会Ⅲ



基礎研修会Ⅱ（情報発信）

平成26年度JA都市農村交流基礎研修会Ⅱを6月6日（金）に東京都千代田区Nツアービルで開催します。

都市と農村における交流活動で不可欠なJA・農業への理解者となる都市住民をはじめとした活動への参加者を募るための情報発信やJAの事例、インターネットを活用した新たな仕組みを学ぶ実践的な内容です。

当日は、JA長野中央会より広報戦略についての事例発表のほか、千葉ロッテマリーンズの振興部より「地域に密着した球団経営」をテーマとした講

演、(株)百戦錬磨によるインターネット業界の動向や本協議会活動支援WEBサイト「ジョイントリーグリーン」の活用方法などのWEB活用講座を開きます。

情報・意見交換集会

会員間の交流および情報共有を一層促進するため、本年度より開催される「JAくらしの活動推進セミナー」と連携し、7月17日から2日間の日程で大手町JAビルにて開催します。1日目(第一部)くらしの活動推進セミナー終了後、交流会から開催し、会員同士が、各活動のノウハウや悩み・課題などを共有し、今後の取組みへの活力やヒントを得られる交流の機会とします。

2日目(第二部)は当協議会の活動結果、今後の取組みについての説明のほか、(株)オリエンタルランドより、「東京ディズニーリゾートにおけるサービスの基本理念」をテーマに記念講演、「協同組合の連携による地域づくり」をテーマとしたパネルディスカッションを予定しております。

<パネリストの紹介>

JAおうみ富士
食育園芸部 部長 川端 均 氏

株式会社ジーピーエス
(パルシステムグループ会社)
事業本部 本部長 工藤 友明 氏
一般社団法人 全国農協観光協会

地域振興推進部

(子供農産漁村交流プロジェクト事務局長)
課長 出口 高靖 氏

※詳細は、本協議会ホームページでご確認いただけます。

[検索都市農村交流全国協議会](#)

基礎研修会Ⅲ(外部連携)

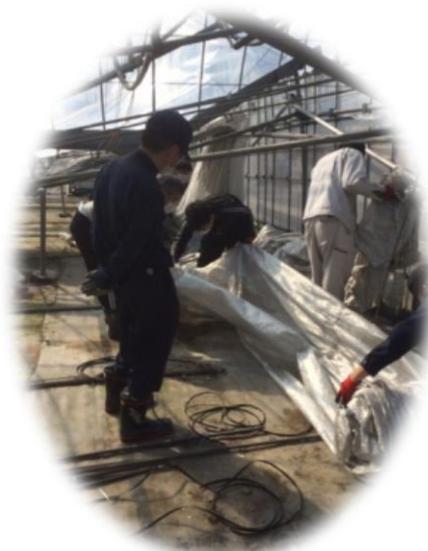
外部団体との連携に必要な知識・ノウハウの習得および実践現場を視察する現地研修を9月に予定しております。詳細は後日開催案内を送付します。

《支援隊レポート》

JAグループ支援隊

雪害からの復旧に向けた

JAグループ支援隊



JAグループでは2月の豪雪災害で被害の大きかった県に雪害から復旧に向けたJAグループ支援活動を実施し

ています。

J A全国機関では3月25日～4月16日までの7班編成で、111名の支援隊を山梨、群馬へ派遣し、ビニールハウス撤去等の作業を行いました。また現在も被災県内ではJ A・県連の職員が支援の取組みを行っています。



支援隊に参加して

『頑丈に造られたハウスほど、いざ倒壊すると撤去が厄介だったが、J A全国機関の支援隊メンバーが力をあわせて数棟を一気に片付けた。支援できたのは、ほんの一部にすぎないが、一日も早い営農再開を祈りたい。』

(J A全中 暮らしの活動推進部 西野部長)

東北被災3県J Aグループ支援隊が再開

平成26年度のJ Aグループ支援隊は5月14日から宮城県で活動がスタートしました。被災地で農業を続ける生産者や、3年が経ちようやく営農再開できる生産者へのお手伝いを中心に活動を続けていきます。

復旧・復興のスピードは地域により差が出てきているように感じます。支

援の形にとらわれずに、もう一度現地を訪れることを検討してはいかがでしょうか。

J Aグループ・農協観光では支援隊をはじめ、皆様の思いを形にするお手伝いをしています。

(情報提供：農協観光 工藤篤志さん)

《お知らせ》



グリーン・ツーリズム
子ども農山漁村交流プロジェクト
新たな情報発信の手法

観光と連携したグリーン・ツーリズムの推進

農林水産省が推進する都市農村共生・対流総合対策広域ネットワークのうち「観光と連携したグリーン・ツーリズムの推進」について、26年度は農協観光が受託し実施します。バスツアーのノウハウをグリーン・ツーリズムに活用し、都市と農村の交流活性化の新たな需要を創出する取組みを支援します。

プラン開発および販売に関するセミナーを東京・大阪・福岡で開催し、セミナーで造成されたプランの内容や販売方法について検証を行います。具体的なスケジュールは当協議会のホームページでも告知しますので、会員の皆様もご参加ください。

子ども農村交流推進へ

自民党は子どもの元気！農山漁村で育むプロジェクト小委員会などの合同会議を開き、「学校教育等における子どもの滞在型農山漁村体験教育の推進に関する法律案」の条文案を了承しました。子どもが農山漁村に滞在し、地域住民と交流、自然体験活動を行う「子ども滞在型農山漁村体験教育を推進し、政府に推進会議を設置する他、農相と文部科学相、総務相、環境相を主務大臣とし、基本方針を定めることを盛り込み、都道府県と市町村も協議会を設置、推進計画を作成する内容となっています。今後の動向が期待されます。

『子ども農山漁村交流プロジェクト』とは

平成20年度から、総務省、文部科学省、農林水産省の連携により、小学校における農山漁村での体験活動が進められています。全国2万3千の小学校で、1学年（小学5年生を中心とした）120万人が自然体験活動等を行うことをめざして、小学校における農山漁村での長期宿泊体験をする取り組みです。

子どもの農山漁村交流は、子どもたちの学ぶ意欲や自立心を育むとともに、受け入れ側の地域活性化につながります。

<プロジェクトを通じた期待効果>

・子どもたちの学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育む（学校側）

・都市と農山漁村の交流を創出することによる受け入れ地域の再生や活性化を図る（受入側）

総務省、文部科学省、農林水産省が一体となった事業推進をしており、さまざまな支援をしております。

○総務省

地方の自主性に基づく取組みを中心に支援

○文部科学省

送り手側（学校）を中心に支援（活動支援、情報提供等）

○農林水産省

受入側（農山漁村）を中心に支援（受入体制の整備支援、情報提供等）

- ・受入地域づくりを全国的に拡大
- ・子どもを受け入れる農山漁村地域の受入体制整備に向けた総合的な支援
- ・受入地域と小学校の情報の共有化、連携活動等の強化
- ・地域リーダーの育成及び体験プログラムの開発等

WEBを活用した新たな手法

都市と農村の交流をはじめ、様々な交流がありますが、不特定多数の地域内外の住民の方々の参加を募る企画も多数あると思います。例えば、JAまつりや農業体験、料理教室、さらには直売所イベント、観光農園など情報の拡散による集客強化は重要な要素と言えます。

このたび、集客対策の新たな手法としてWEBサイト「JOINtly

GREEN」(ジョイントリーグリーン)
をご紹介します。

<http://green.jointly.hyakuren.org/>

無料で手軽に利用できるシステム

当サイトは、イベント主催者がいつでも手軽にイベント情報をWEBサイトへ登録し掲載できるシステムです。ネットで情報を得る次世代への情報発信としても有効な手段が、無料でご利用いただけます。

業務軽減にもお役立ち

また、有料サービスとなりますが、「受付代行」の機能があります。この機能は、掲載したイベント情報のページから参加受付を出来るものです。WEBでの受付業務のイベント主催者のメリットとしては、従来電話での受付と比較をすると、1) 電話対応時間の軽減 2) 予約受付可能人員設定がシステム管理のため、予約超過の防止 3) 受付データが電子データ管理のため、名簿作成の業務が軽減 など業務効率化・軽減につながります。

本協議会会員特典

当システムの活用にあたっては、本協議会の会員特典として、システムへの情報登録を事務局で代行いたします。

掲載したい情報のチラシや要望などもメールやFAXで事務局宛に送っていただければ結構です。

どしどし情報をお寄せください。

[ジョイントリー]
JOINTly
GREEN



J A都市農村交流全国協議会 事務局 (J A全中 暮らしの活動推進課)

HP : <http://ja-koryu.com/> TEL03 (6665) 6240 (代)

担当：石岡・石井

*掲載内容に関するご意見・ご質問など、お気軽にお問い合わせ下さい。